

令和年7月8日  
たかつき保育園

保護者の皆様

## ＊感染症情報＊

今日、**手足口病**と診断されたお子さんがいます。

また、いわき市でも手足口病が流行しています。症状に注意し外出の際には手洗いや、手指の消毒、うがいを行うと共に規則正しい生活をこころがけましょう。

手足口病とは・・・腸の中にいるコクサッキーA16 ウイルスやその他のエンテロウイルスが原因で起こる夏かせの一種。生後6カ月くらいから、4～5才ころの幼児に多い病気です。

《潜伏期間》・・・**3～6日**

《感染経路》・・・**咳や唾液の飛沫感染**の他、**便からもウイルスが排出**されて経口感染したりします。(ウイルス排出は、呼吸器からは1～2週間、便からは数週間～数か月)

《症状》・・・その名のとおり手足と口にできる水疱状の発疹が特徴、痛がり食べる事を嫌がります。手のひら、足のうら、口の中に、周囲が赤くて真ん中が白い、米粒大の水疱ができます。足の甲やおしりにできることもあります。痛みやかゆみはありませんが、足の水疱が少し痛がゆいことも。熱は出ても37～38度くらいで、1～2日でたいてい下がります。ときには下痢や嘔吐を伴うこともあります。

《治療》・・・基本的にはお薬はありません。軽くすむ場合が多いので自然に治るのを待つしかありません。**症状に対する対症療法**です。

《家庭でのケア》口の中にできた水疱は潰瘍になり、しみてかなり痛むことがあります。よだれがたくさん出るので気づくことも多いようです。のどごしのよい食べやすいメニューを用意してあげましょう。また、脱水症状を起こさないように、水分補給には気をつけましょう。

《登園基準》・・・熱が下がり、いつもどおりに食事がとれ、機嫌が良い。

発疹が、水泡で破けてしまったときはそれが乾燥するまでは、様子見てください。

登園時には、**保護者による登園許可証**に記載をお願いします。

